



【学校教育目標】 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

令和7年1月7日
京都市立東山泉小中学校
校長 岩田 智典

泉だより

No.11



明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。

例年のことではありますが、正月を迎えた泉涌寺の参道（東学舎の通学路）には「泉山七福神」の色鮮やかな「のぼり」が立ちます。七福神とは、大黒天（だいくてん）、毘沙門天（びしゃもんてん）、恵比寿天（えびすてん）、寿老人（じゅうろうじん）、福祿寿（ふくろくじゅ）、弁財天（べんざいてん）、布袋尊（ぼていそん）の七つの神様の総称です。「七難即滅、七福即生」の説に基づくように、七福神を参拝すると七つの災難が除かれ、七つの幸福を授かると言われています。京都にはいくつか七福神参りの箇所がありますが、「泉山七福神」は短い距離ですべての神様に参れるということで人気があります。今年は「巳年」、巳年にゆかりのあるのは弁財天と言われています。「泉山七福神」では戒光寺（弁財天）にあたります。東山泉の校区が弁財天を含む七福神に見守られる中、災難が取り除かれ、子どもたちが幸福を授かる一年になることを願うばかりです。地域、保護者の方々におかれましては、今後とも末永く、本校へのご支援、ご協力のほどよろしく願いいたします。



令和6年度「東山泉の子につけたい資質能力」進捗状況

昨年度の開校10周年の合言葉「不易流行」を期に、改めて東山泉の子どもたちにつけたい資質能力を今年度再構築いたしました。1学期の始業式には「立志」を、2学期の始業式には「才知」を子どもたちに説明し、教職員にも資質能力を伸ばして欲しいという願いをいたしました。そして7月と12月には児童生徒アンケートという形でのどのくらい達成できているか、進捗状況をはかっています。以下は「当てはまる」あるいは「出来ている」と回答した子どもたちの数値です。

「立志」 自分には良いところがあると思いますか？

昨年度12月(68.2%)→今年度7月(74.5%)→今年度12月(80.0%)

「才知」 主体的、対話的深い学びに関するアンケート3項目平均

昨年度12月(74.4%)→今年度7月(76.6%)→今年度12月(78.6%)

という結果で見られるように、教職員の働きかけによって子どもたちの成長が見られます。

3学期の始業式には、子どもたちにあと一つの資質能力「向学」についての話をさせていただきました。これから子どもたちにどのような未来が待っているか、不透明な時代ではありますが、本校の目指す資質能力を身に付け「生き抜く力」の育成を目指していきたいと思えます。

向学 各教科等で身に付けた知識・技能を日常の様々な場面において活用できる

才知 課題解決に向けて情報を収集・分析したり、周囲の人と協働したりしながら、自分の考えを表現できる

立志 自らの生き方を考えながら、目標に向かってねばり強く取り組むことができる

※「向学 才知 立志」は東山泉小中学校の校是（教育上の根本精神として定められた事柄）であり、開校以来大切にしてきたものである。

保護者の方々へ

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。いただいたご意見に関しましては、本校ホームページの方で2月中旬ごろ掲載しますので、ご確認ください。